

フェリス女学院大学 教育職員公募

記

1. 職名・募集人員 学科所属契約教員（教授、准教授又は助教） 1 名
2. 専 門 分 野 コミュニティ通訳、地域共生等の関連科目
3. 主 たる 業 務
 - (1) 担当予定科目の授業設計及び実施
 - (2) PBL科目の企画立案
 - (3) 教授会ほか、全学的委員会・会議への出席・陪席
 - (4) その他、学長及び学部長が指示する業務
4. 採用予定年月日 2025 年 4 月 1 日
 ※本公募は、現在構想中の新学部（2025 年度開設予定）での勤務を前提としているため、万一認可申請（個別教員資格審査を含む）又は届出が許可されない場合、選考結果に関わらず、採用とはなりません。
5. 契 約 期 間 任期は5年を上限とし、再任はしない。定年 65 歳
6. 勤 務 形 態 原則として1週4日出校（水曜日は必出校日）
7. 待 遇 給与・賞与・諸手当・研究費・退職金：本学給与規程に基づき支給
 昇給：有（毎年4月1日）、個人研究室：有
 保険：日本私立学校振興・共済事業団、雇用保険、労災保険加入
8. 担 当 予 定 科 目 「地域共生社会論」「コミュニティ通訳論」「共生コミュニケーション実践論」等
 *上記科目のほか、共通科目、所属学科以外の専門科目を担当することがある。
 *大学院科目も担当することがある。
9. 応 募 資 格
 - (1) 専門分野に関する修士以上の学位を有する方
 - (2) 国籍は問わないが、日本語での授業が可能であること、また本学での校務遂行上必要な日本語運用能力を有すること
 - (3) 着任時点で、大学等の高等教育機関での授業担当経験（非常勤を含む）を有すること
 - (4) キリスト者（プロテスタント）もしくは、本学がキリスト教主義大学であることに理解がある方
 - (5) 専門分野に関する5年程度の実務経験を有する方（実務家教員枠での採用）
10. 応 募 書 類
 - (1) 履歴書（写真貼付・指定書式）
 *応募段階での家族情報の記入は不要、教育免許状の提出は不要
 **本務校がある場合は、役職・委員等の学内経歴をまとめ、添付すること（書式自由）
 - (2) 業績書（指定書式）
 「学術論文」についてはタイトル末尾に査読の有無を明示すること
 * (1) (2) 共に <https://www.ferris.jp/saiyo/index.html> より指定書式をダウンロードして使用すること（記入要領も掲載しているので確認してから作成すること）
 - (3) 最終学位を証明するもの（写し）
 - (4) 公刊された著書又は論文2本以上（別刷り又はコピー可）
 提出する著書又は論文については、研究業績書の左余白に鉛筆書きで○印を付すこと
 - (5) 上記(4)で提出する著書又は論文それぞれの概要（日本語で400字程度、書式自由）
 - (6) 職務経歴書（A4判2枚以内、横書き、書式自由）
 - (7) 実務経験を付した自己推薦書（A4判2枚以内、横書き、書式自由）
 応募理由、本学でどのような教育を実践したいか、今後の教育・研究に関する抱負等
 ※応募者に関して意見を伺うことができる方2名の名前、所属及び連絡先を付記すること
 - (8) その他 <提出は任意>
 実務の業績を示すもの、教育上の実績を示すものなど、本公募に関しアピールできるものがあれば提出してもよい。
11. 応 募 期 限 2023 年 2 月 6 日（月）必着
12. 選 考 方 法 応募書類を審査の上選抜し、面接を行う。選考過程で模擬授業等を依頼することもある。
 *新型コロナウイルス感染の状況等踏まえ、審査の過程で、候補者には追加書類の提出や遠隔会議システム(ZOOM)を用いた面接、模擬授業を依頼することがあります。
 書類審査及び面接審査の結果は、審査後1か月以内を目途に通過者にのみ**お知らせします。
13. 提 出 先 〒245-8650 神奈川県横浜市区緑園4-5-3 フェリス女学院大学総務課 宛
 封書に「教員応募書類(コミュニティ通訳)」と朱書きし、必ず**書留郵便**で郵送すること
 提出された応募書類は、原則として差し替え、返却には対応しません。
 上記応募書類(4)(8)について返却を希望する場合は、研究業績書の該当項目にレ印を付し、宅配便の送付票(返送宛先を記入、着払い)を同封すること
14. 問 い 合 わ せ 先 フェリス女学院大学総務課 人事担当 TEL:045-812-8211 <12/24～1/5 は閉室>

以 上